

# 豊田市都心地区空間デザインをかんがえる

## 第2回 市民ワークショップ

平成28年7月24日(日) 13時30分～16時30分  
豊田市役所東庁舎7階大会議室

座長：小林 正美(明治大学 教授)  
星 卓志(工学院大学 教授)  
星野 裕司(熊本大学大学院 准教授)

参加者：49人

配布資料：市民ワークショップ(第2回) プログラム・コンセプト資料(東西のあり方)  
〔その他参考資料〕ワークショップNEWSLETTER(キックオフ・第1回)

### 開催内容

1. 第1回ワークショップの振り返り・推進会議のまとめ
2. 星先生より  
公共空間を使いこなすための官民連携における新しいまちづくりのあり方
3. つくる・つかうチームより、
  - ①東西のあり方 コンセプト説明
  - ②各広場のつくり方 説明

### 4. 全体議論での主な意見

(どのような使い方が出来るか/そのためにはどのような空間が必要か)

#### 【新豊田駅東口広場】

- ・目的性をもつ人が来るような公園にしたい
- ・唯一、土があるエリアなので泥遊びできる場所にしたい

#### 【豊田市駅西口デッキ】

- ・ファッションショーや若手アーティストの展示の場
- ・デッキ上にはくつろぎの空間を設けるとともに情報発信の場を設置

#### 【豊田市駅東口まちなか広場】

- ・親子が水辺で遊んでいるのを高齢者が見守っているような空間
- ・文化施設と連動した広場とする
- ・豊田のシンボルとしての広場空間(夜間照明もかっこよくしたい)

#### 【停車場線・フルモール】

- ・オシャレなストリートにしたい
- ・小川みたいに人が色々なところにぶつかりながら流れることの出来る空間

### 5. 当日の結論

- ・駅は拡張し通り抜けを大事にし、東側を『矢作口』西側を『毘森口』とする
- ・西側は自然を中心に日常の風景をつくる  
個性のある小空間をいくつか配置する  
通勤通学の人にも楽しめる空間にするために民間の建物は開いていく
- ・東側は祝祭性をテーマとする  
土日はいろいろなイベントがフレキシブルに行われる空間水辺を配置  
平日は親子や高齢者のために日常の使い方  
水辺を配置/季節ごとのイベント等にも活用  
真っ直ぐ歩くだけではないよどみのあるオシャレなストリート  
GAZA 前の道路に対しては今後も様々な状況を受け入れることの出来る空間とする(今後様子を見る)  
矢作川に向けての緑のトンネルは面白い